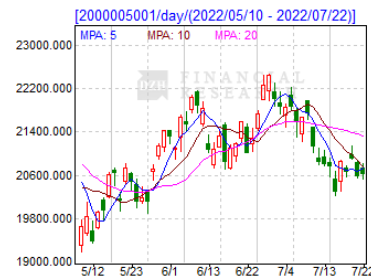




【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	21年末株価
NYダウ	31,899.29	-137.61	-0.43	1.95	-12.22	36,338.30
NASDAQ	11,834.11	-225.50	-1.87	3.33	-24.36	15,644.97
日経225	27,914.66	111.66	0.40	4.20	-3.05	28,791.71
上海総合	3,269.97	-2.03	-0.06	1.30	-10.16	3,639.78
滬深300 (CSI300)	4,238.23	2.18	0.05	-0.24	-14.21	4,940.37
ハンセン	20,609.14	34.51	0.17	1.53	-11.92	23,397.67
中国企業	7,106.70	7.15	0.10	2.14	-13.72	8,236.35

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は1.5%高と3週ぶりに反発、上海総合指数は1.3%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.5%高と3週ぶりに反発した。前週の大幅下落を受けた反動で週初は買い戻しが先行したが、その後は週末にかけて一進一退の展開。中国の住宅ローン返済拒否問題を巡る懸念に加え、欧米主要中銀による利上げを受けて世界景気の後退リスクへの警戒感も根強く、21000ポイント付近では上値の重さが目立った。本土市場では上海総合指数が週間で1.3%高と3週ぶりに反発。週前半は買い戻しが優勢だったが、週後半は住宅ローン返済拒否問題や新型コロナの感染拡大が警戒された。

今週の展望:香港市場は神経質な展開か、FOMCと中国のコロナ感染増加に警戒感

香港市場は神経質な展開が予想される。中国の新型コロナ感染者の拡大で都市封鎖など行動制限強化への警戒感が高まるなか、李克強首相が大規模な景気刺激策は実施しない方針を示したことは相場にとってマイナス材料。一方、米中首脳会談や対中制裁関税の解除で進展があれば大きな支援材料となる。今週は26-27日にFOMCの開催が予定されており、今後の利上げ見通しを巡って神経質な動きが見込まれる。本土市場も今週は神経質な展開か。新型コロナの感染拡大による行動制限への警戒感が相場の重しとなりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 東方海外 (00316)	265.80	13.59
2 ネットイース (09999)	151.10	12.26
3 創科実業 (00669)	90.85	10.05
4 葉明生物技術 (02269)	81.85	7.70
5 美团 (03690)	191.70	6.98
6 SMIC (00981)	16.90	6.29
7 信義光能 (00968)	12.40	6.16
8 CNOOC (00883)	9.85	5.69
9 サズ・チャイナ (01928)	17.86	4.57
10 JDドットコム (09618)	247.00	4.40

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 碧桂園服務 (06098)	20.35	-10.75
2 中升集団 (00881)	48.65	-6.98
3 碧桂園 (02007)	3.14	-5.14
4 龍湖集団 (00960)	26.60	-5.00
5 信義ガラス (00868)	16.02	-4.53
6 中国生物製薬 (01177)	4.71	-4.27
7 華潤置地 (01109)	32.05	-4.04
8 中国海外発展 (00688)	21.45	-3.38
9 BYD (01211)	285.40	-2.99
10 AIAグループ (01299)	79.50	-2.99

▼今週の主なイベント

- 7月26日(火)
- 【米国】FOMC(～27日)
- 7月27日(水)
- 【中国】工業企業利益(1-6月)
- 7月31日(日)
- 【中国】製造業PMI(7月)

▼今週の期待材料

- ◆米中首脳会談が月内にも開催される見通しに、直接対話で米中対立緩和への期待が高まる公算
- ◆米国がインフレ対応で対中制裁関税の解除を検討中、制裁解除に向けた進展があれば相場の押し上げ要因に
- ◆26-27日に米FOMC開催、景気後退懸念がくすぶるなかで1%の大幅利上げ見送りの可能性高まる

▼今週の懸念材料

- ◆中国で新型コロナの感染者が全国的に拡大、ゼロコロナ徹底による行動制限強化への警戒感が広がる公算
- ◆李克強首相が大規模な景気刺激策や通貨の過剰供給はしない方針を強調、景気対策への過度の期待が後退
- ◆中国の住宅ローン返済拒否問題が関係各業界にも波及、不動産開発業者の取引先の資金繰りも悪化

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ **トラベルスカイ・テクノロジー (00696)**: 6月中間決算は最大7割の増益の見通し
- ☆ **中信資源控股 (01205)**: 6月中間決算は純利益2.1倍、資源価格上昇が業績に貢献
- ☆ **BYD (01211)**: EV乗用車で日本市場への参入を発表、23年に3車種を投入
- ☆ **バドワイザーAPAC (01876)**: 27日に6月中間決算を発表、市場予想は12%増益
- ☆ **無錫薬明康德新薬開発 (02359)**: 26日に6月中間決算を発表、73%増益の見通し
- ☆ **紫金鉱業集団 (02899)**: 1-6月の金生産量が23%増加、銅生産量は71%増
- ◇ **深セン控股 (00604)**: 不動産管理事業の香港証券取引所への分離上場を検討
- ★ **華能国際電力 (00902)**: 26日に6月中間決算を発表、燃料費増で赤字転落の見通し
- ★ **国泰君安証券 (02611)**: 6月中間決算の速報値は20.5%減益、投資収益減少が痛手
- ★ **中国飛鶴 (06186)**: 6月中間決算は出生率低下や在庫管理費増加で減収減益の見通し

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。